

コラム：3月に発生が予想される病害虫について

1 水稲（一期作）移植期におけるスクミリングオガイの防除対策

スクミリングオガイ(ジャンボタニシ)について、移植期からの早めの対策が重要です。

1 防除上注意すべき事項

- (1) 貝および卵塊は見つけ次第捕殺する。なお、捕殺するときにはゴム手袋を着用する。
- (2) 取水口に網(5mm以下)を設置し、用排水路からの侵入を防ぐ。
- (3) 本田での食害が集中する移植後2～3週間頃から浅水管理(1cm以下)に努め本種の活動を抑えるとともに、薬剤を施用する。
- (4) 畦畔および用排水路周辺の雑草を除去し、産卵場所をつくらない。

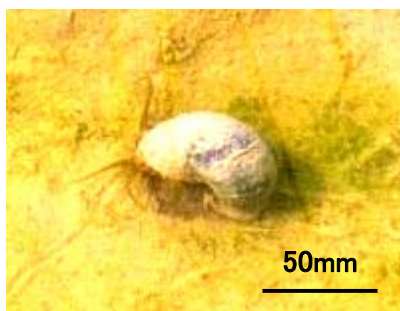


図1 成貝



図2 卵塊

2 オクラにおけるトンネル被覆除去後のアブラムシ類の防除対策

春先に、アブラムシ有翅虫(図1)が多くみられます。露地栽培のオクラ圃場でも、トンネル被覆を除去するこの時期にアブラムシ類が飞来し、急激に増殖します。生育初期にアブラムシ類に多く寄生されると、オクラは生長が著しく阻害されることから、こまめに発生状況を確認し、早期防除するよう努めましょう。

1 発生生態および被害

- (1) 葉裏、蕾、幼果など、あらゆる部位に寄生する(図2)。
- (2) 生長点付近に寄生すると、葉の奇形や生長抑制を引き起こす。
- (3) 多発すると排泄物によりすす病が誘発される。



図1 有翅成虫



図2 オクラの葉裏にコロニーを形成するアブラムシ類

2 防除上注意すべき事項

- (1) シルバーポリテープ等を利用して飛来を防止する。
- (2) 圃場周辺の雑草は発生源となるので除去する。
- (3) 露地では天敵による密度抑制も期待できるので、殺虫剤の多用は避ける。